

ほくほくフィナンシャルグループ CSR

ほくほくフィナンシャルグループでは、
地域経済、地域社会の持続的な発展を目指すため、
CSR(企業の社会的責任)を重要な課題として推進し、
地域の皆さまや株主の皆さま、
社会からのご期待に応えてまいります。

1 方針

当社グループは、CSRを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経営理念のもとに、法令を遵守し倫理的行動をとることを基本とし、広域地域金融グループとして本業を通じた地域貢献を主軸とした上で、環境、社会へ配慮した活動を積極的に行うことで、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

2 定義

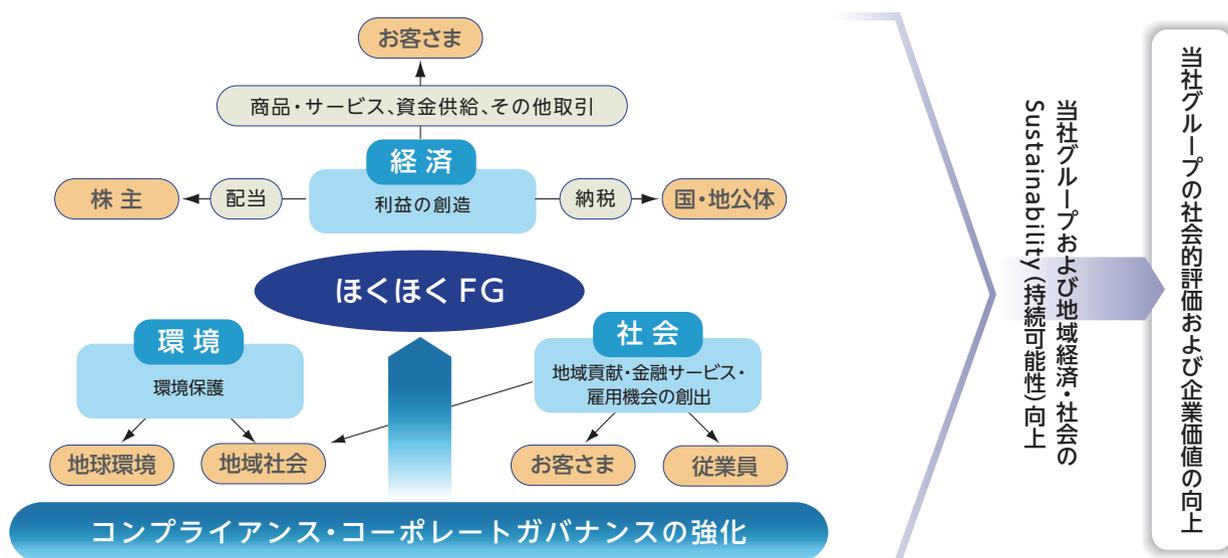
(1) CSR (Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)

「当社グループ、地域経済および社会の持続的な発展のために、経済的な利益を追求するだけでなく、環境、社会貢献などさまざまな社会問題に配慮する等、当社グループと利害関係を持つすべてのステークホルダーに対し果たすべき責任。」と定義しております。

(2) ステークホルダー

当社グループの利害関係者すべてとし、特に「お客さま、地域社会、株主、従業員」を重視して取り組みます。

■ 当社グループのCSRの考え方



1 お客さまへの取り組み

個人のお客さま

当グループでは、地域に密着しながらお客さまの声に耳を傾け、よりご来店しやすい店舗づくりやサービスの改善に努めています。

北陸銀行・北海道銀行では、両行の職員が相互にロビー視察や意見交換会を行い、さらなるCS（顧客満足度）の向上を目指しているほか、認知症の方やその家族の方への理解を深め、高齢者に寄り添った接客を行うため「認知症サポーター養成講座」を職員向けに開催しています。

また、平成28年4月施行の「障害者差別解消法」への対応や、あらゆるお客さまに不便なく店舗をご利用いただくための取り組みの一環として、「コミュニケーションボード」や「耳マーク表示板」を全支店に設置しているほか、一部の店舗では車椅子の方にも使いやすいよう足元に大きなスペースが確保されているATMの設置や「筆談ボード」の設置などさまざまな取り組みを行っております。



コミュニケーションボード



筆談ボードと耳マーク表示板



車椅子に配慮したATM

法人のお客さま

当グループでは、北陸・北海道・三大都市を結ぶ国内広域ネットワークと、海外駐在員事務所や提携外国銀行、現地行政機関の機能を活用し、各種商談会の開催や活きた情報の提供、セミナーの開催などを通じ、法人のお客さまの販路拡大支援や海外進出支援等、多様化するニーズに積極的に対応しています。

また、創業・開業から事業承継までの各ライフステージにおいて、資金調達支援やM&A、人事・賃金制度等の経営戦略、情報システム化など、情報戦略についてのコンサルティング業務に積極的に取り組み、質の高い金融サービスの提供に努めています。

今後も広域ネットワークを最大限に活用し、地域の特性に応じた商談会やビジネスマッチング業務を多面的に展開するほか、コンサルティング機能の充実やソリューション営業の強化により地域の繁栄をサポートしていきます。

（中小企業の経営支援に関する態勢整備や取組状況については後述の「中小企業の経営改善および地域活性化のための取組状況」にも掲載していますので参照ください。）

27年度中に新たに提携した外国銀行や海外行政機関

北陸銀行 中国江陰市と経済交流の覚書締結

中国の市・省と6件目（ほくほくFG全体では19件目）の経済協力協定となる江蘇省江陰市の江陰臨港経済開発区と経済交流促進に関する覚書を締結しました。お取引先の同区への進出に際し投資情報の提供や企業進出の協力、ビジネスマッチング企業の紹介など、同区と連携し、幅広いサポートをしていきます。



北海道銀行 バンク セントラル アジアとの提携

インドネシア最大手の民間銀行として、インドネシア国内に1,160の拠点網を有しているバンク セントラル アジアと提携しました。現地情報の提供、現地への進出支援、ビジネスマッチング等、幅広い支援を行っていきます。



2 地域社会への取り組み

当グループでは、行政機関や地方公共団体、大学等の研究機関、経済団体等との連携を強化し、農業や観光等の成長分野や地域産業の育成支援に取り組み、地域活性化を目指しています。

また、金融機関としてのノウハウを活かした学生のための金融教育や、地域行事への参加はもとより、芸術文化や福祉分野への支援を行い、地域に根ざす企業市民として積極的な社会貢献活動に取り組んでいます。

金融教育

北陸銀行・北海道銀行 「エコノミクス甲子園」の開催

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知力を習得し、お金との関わり方やライフデザイン等を考えるきっかけとなることを目的として、毎年「エコノミクス甲子園」を開催しています。北陸銀行では富山大会・福井大会を、北海道銀行では道内の信用金庫や信用組合とともに北海道大会地区予選および北海道大会を運営しました。



北海道銀行 「夏休み親子で銀行体験」を開催

道内9都市において、普段銀行に足を運ぶことの少ない子ども達が一億円を持ち上げて紙幣の重さを体感してみる「一億円体験」や「札勘体験」「貸金庫室見学」等、銀行について学べる機会を提供する目的で開催し、期間中242名の親子に参加いただきました。



芸術文化・スポーツ振興

北陸銀行 美術館「ギャラリー・ミレー」の運営

北陸銀行所蔵の絵画を展示している「ギャラリー・ミレー」は9月に3周年を迎え、10月には来館者が4万人を突破しました。企画展の開催など多くのお客さまに楽しんでいただいております。



北海道銀行 「道銀ライラックコンサート」を開催

美しいクラシック音楽に気軽に触れてもらうこと、北海道の文化を身近に感じてもらうことを目的に、毎年5月に開催しています。27年の開催では、札幌市民ホールにお客さま1,500名を招待し、ヴァイオリン奏者の伊藤亮太郎さんと札幌交響楽団による共演をお楽しみいただきました。



北海道銀行 「どうぎんカーリングクラシック」を初開催

「札幌に毎年開催されるカーリングの国際大会を」との市民の声にお応えし、どうぎんカーリングスタジアムにて「どうぎんカーリングクラシック」を開催しました。今後も国際大会としての定着を目指し開催を続けていきます。



地域密着活動

北陸銀行・北海道銀行 YOSAKOIソーラン祭りに出場

札幌の初夏を彩る「YOSAKOIソーラン祭り2015」に市民団体との合同チーム「北海あほんだら会&ほくほくフィナンシャルグループ」として出場しました。参加11年目となる今回は、北陸銀行、北海道銀行の両行から行員65名が踊り子や旗振りとして参加し、力強い演舞でお祭りを盛り上げました。



北陸銀行 フラワーハンギングバスケットを設置

富山市では「花と緑にあふれた潤いあるまちづくり」を進めるため、沿道等に季節の花々を飾る「ハンギングバスケット」を設置しており、北陸銀行もこの取り組みに賛同し、本店の壁面にフラワーハンギングバスケットを設置しました。



北海道銀行 ライラックまつりでの苗木プレゼント

北国の初夏を告げる「ライラック」は札幌市の「市木」であり、北海道銀行の「バンクフラワー」でもあります。このような縁から「札幌をライラックの花につつまれた美しい街に」との願いを込め、昭和34年から開催に協力しています。昭和50年からは市民の皆さまへ苗木のプレゼントを始め、その本数は40年間で10万本余りとなりました。



3 環境への取り組み

金融事業として、環境に配慮した企業活動を行うお取引先に対し、金利優遇や資金調達支援に取り組んでいます。また本部・営業店においては、クールビズ・ウォームビズの実施や太陽光発電システムの導入、電子帳票システムの導入等による紙使用量の削減など、温室効果ガス削減に向けた取り組みを行っているほか、地域での清掃活動や植樹活動にも積極的に取り組んでいます。

環境に配慮した金融商品の取り扱い

北陸銀行・北海道銀行 エコ私募債

環境にかかる公的認証を得ている企業、北海道銀行のISO14001取得支援サービスをお申込みいただいている企業を対象に私募債の発行条件を優遇しています。平成27年度は、2行で408件の取り扱いがありました。

北陸銀行 エコリードマスター

北陸銀行では、独自の環境評価格付けに応じて金利が優遇される商品「エコリードマスター」を取り扱っています。平成27年度は燃費効率の良い車両への入れ替えや廃棄物リサイクル量の増加に取り組んでいるお取引先など6先にご利用いただきました。

温室効果ガス削減への取り組み

- ・クールビズ・ウォームビズの実施
- ・太陽光発電・給湯設備の導入
- ・電子帳票システム・ドキュメント管理システム導入による紙使用量の削減
- ・LED照明の導入
- ・高効率空調の導入
- ・地下水冷熱を利用した冷房設備の利用、地中熱ヒートポンプの導入

環境保全活動

北陸銀行 「なんとの森づくり事業」への参加

五箇山合掌造りの世界遺産登録20周年を機に富山県南砺市遊部自治会が推進を開始した「なんとの森づくり事業」に共同参加し、茅の植栽活動を行いました。



北海道銀行 大通公園などの清掃活動を実施

北海道銀行本店ビル勤務職員による札幌市大通公園の清掃に加え、全道各店でお店の周りを中心に商店街などの清掃活動を行っています。



4 従業員への取り組み

当グループでは、従業員の個性やライフスタイルを尊重したキャリアプランに沿って、集合研修や職場教育、自己啓発制度、海外を含めた行外への派遣研修など多様な能力開発プログラムを実施しています。また、契約社員の行員登用や、育児・介護休業、各種休暇制度など、ワーク・ライフ・バランスのニーズに対応する制度を拡充し、従業員の満足度の高い職場環境を目指しています。

北陸銀行 役職員による「イクボス宣言」

職員がより働きやすい職場環境の整備の一環として管理職向けに「イクボスセミナー」を開催し、富山県内民間企業で初めて、富山県知事を立会人として「イクボス宣言」を行いました。(イクボスとは共に働く部下のワーク・ライフ・バランスや人生を応援しながら、組織の業績や結果を出すことができ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことを言います。) ワーク・ライフ・バランスの尊重、多様な働き方を受け入れる職場風土の定着を一層目指していきます。



北海道銀行 「2015年度 均等・両立推進企業 優良賞」受賞

女性労働者の能力発揮を促進するための積極的取組（ポジティブ・アクション）について、他の模範とも言うべき活動をしている企業として、北海道労働局より「2015年度 均等・両立推進企業 優良賞」の表彰を受けました。人事コースの転換要件や採用区分の見直しを行い、女性の採用、職域、管理職登用の機会の拡大を図ったことや、女性職員の意見要望を集約するための「女性活躍促進ミーティング」を実施し、寄せられた意見を女性が働きやすい職場環境づくりに活かす取り組みを行っていることが評価されました。

